

ウイリー & マックス サドルバッグ 車両への取り付けに関する注意点

両側振り分けタイプの取り付け

サドルバッグにはレース(紐)またはタイラップが付属されています。バッグ本体側面にあるループ状のタグと付属のレース(紐)またはタイラップを使用し、バッグ本体を車体に固定してください。タグは片側のバッグに2ヶ所(左右両側合計4ヶ所)あります。これらすべてのタグ部に行ってください。



CAUTION

- 本製品は汎用品のため、タグ固定位置に関する車両別の推奨位置はありません。
- 走行中のバタつきやぐらつきはサドルバッグの脱落、損傷につながる恐れがあり非常に危険です。別売りのサドルバッグサポートなどを併用し、確実に車体に固定してください。

サドルバッグ上面が地面に対して平行になるように調整してください。積載物の重みでバッグ自体が垂れ下がる点も考慮して取り付けてください。



CAUTION

- サドルバッグ本体とマフラーは必ず最低5cm以上離して取り付けてください。5cmを下回る場合、マフラーからの熱によるバッグの焼けや、バッグ内部の積載物に悪影響をおよぼす可能性があります。積載物をバッグに入れた状態で、必ずマフラーから5cm以上離れていることを確認のうえ、走行してください。



左右それぞれのサドルバッグにあるベロを重ねてレース(紐)で連結させます。

レース(紐)を通す連結穴の位置を変更し、サドルバッグ上面が地面と平行になるように調整してください。既存の穴位置だけで調整できない場合は、ボンチまたはキリなどで新たに穴をあけて調整してください。余る部分のベロは、必要に応じてカットしてください。

片側のみ取り付け

サドルバッグにはレース(紐)またはタイラップが付属されています。バッグ本体側面にあるループ状のタグと付属のレース(紐)またはタイラップを使用し、バッグ本体を車体に固定してください。タグはバッグの前後にあります。必ず両側のタグ部に行ってください。



CAUTION

- 本製品は汎用品のため、タグ固定位置に関する車両別の推奨位置はありません。
- 走行中のバタつきやぐらつきはサドルバッグの脱落、損傷につながる恐れがあり非常に危険です。別売りのサドルバッグサポートなどを併用し、確実に車体に固定してください。
- サドルバッグ本体とマフラーは必ず最低5cm以上離して取り付けてください。5cmを下回る場合、マフラーからの熱によるバッグの焼けや、バッグ内部の積載物に悪影響をおよぼす可能性があります。積載物をバッグに入れた状態で、必ずマフラーから5cm以上離れていることを確認のうえ、走行してください。



サドルバッグからベロを取り外します。(片側のみ取り付けの場合、ベロは使用しません)バッグ本体側のリングにベルトを通し、車体に取り付けます。

CAUTION

- ベルトの耐荷重は2本で計10kgです。積載物はサドルバッグ本体の重さも含め、必ず10kg以内としてください。